

10月7日

テーマ：わたしに何をしてほしいのか

聖書箇所：ルカの福音書18章35節～43節

◆今日のみことば

彼が近寄って来たので、「わたしに何をしてほしいのか」と尋ねられると、彼は、「主よ。目が見えるようになることです」と言った。  
ルカの福音書18章41節

◆メッセージ

エリコという町に、目の見えない男の人がいました。男の人は道のはしっこにすわって、通りかかる人からお金や食べ物をもらってくらしていました。ある日、耳をすましていると、いつもとはちがうにぎやかな声がします。聞いてみると、イエスさまがここをもうすぐお通りになるというではありませんか。今まで、たくさんの病気の人をなおしたり、不思議なことをおこなったりされたというあのイエスさまです。男の人は、目は見えませんが、イエスさまのうわさを聞いて、このお方がただの人ではない、神さまが約束してくださった救い主ではないか、と思ったのです。



イエスさまが近くまでこられたことがわかりました。男の人は大きな声で「ダビデの子のイエスさま、私をあわれんでください」とさげびました。あわれんでくださいとは、神様のすばらしいお恵みを私にもください、ということです。男の人は何度も何度もさげびました。

イエスさまは、このさげびを聞いてくださいました。そして、立ち止まってくださったのです。イエスさまは、男の人に「わたしに何をしてほしいのか」と聞かれました。イエスさまは、「あわれんでください。おまかせします。」というだけでなく、お願いしたいことを具体的に言っていい、とおっしゃったのです。男の人は、「主よ、目が見えるようになることです」と答えました。イエスさまには目が見えるようにして下さる力がある、ということを感じているから、そう答えました。こんなことは無理だろう、と思ったらお願いできませんね。イエスさまが、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを直したのです。」と言われると、なんと、ずっとずっと見えなかった男の人の目が見えるようになったのです。男の人は、これは神さまのわざだとわかりました。そして、神さまはすばらしいと言いながらイエスさまについて行きました。

イエスさまは、神の子ですから、わたしたちが考えていることをすべて知っておられます。それでも、「わたしに何をしてほしいのか」と声をかけてくださいます。わたしたちがイエスさまに自分の口で、イエスさまにはできると信じていると話すのを待っていてくださっています。イエスさまに具体的にお願いしましょう。



◆お祈り

「イエスさま。私をあわれんでください。あなたが、聞いてくださるので、私の心の中の願いをお話します。」

(新津福音キリスト教会伝道師 小池紀子)